

ゼミ活動報告

「ディベート大会に出場しました！！」

柳田恵里

9/11(日)、証券研究関西学生連盟主催秋季セミナー大会が行われました。今回の大会は、ディベート形式で「マイナス金利政策は日本経済の成長に有効である。是か否か。」というテーマで議論が行われました。各3チーム総当たりの4ブロックでディベートが行われ、私たち宮川ゼミ5期生11人は2チームに分かれて参加しました。

私の所属したチームは、1回目の討論で反対側、2回目の討論で肯定側の主張を行いました。1回目の討論では、相手チームの論理を反駁でしっかりと崩すことができず、苦戦を強いられました。私が担当した最終弁論においても、反駁内容をうまくまとめることができず、相手の論理の破綻をダメ押しすることも、否定側の主張を改めて立証することも十分にできなかったように思います。しかし、昼休みに先生ともう一つのチームに所属する末近からアドバイスをもらったことで、2回目の討論は反駁、最終弁論において否定側の論理を破壊することができ、自分たちの思うように討論を進めることができました。その結果、ブロックで優勝することができました！



私たちのチームは、全員7月までディベートの経験がありませんでした。初めてゼミでディベートを行った際は、立論ペーパーがただのメモ書きであり、議論が全く成り立っていませんでした。その頃と比べると、自分たちの主張を論理立てて説明すること、相手の主張の論理の破綻を指摘することが格段にできるようになったと実感します。また、立論ペーパーも読み手のわかりやすさを意識して作れるようになりました。

本稿は大阪市立大学商学部宮川研究室ゼミ生の活動報告を目的として本学学生が作成したものです。本稿に掲載される個人名や企業名はご本人のご協力を得て掲載許可をいただいています。ただし、内容については執筆者の主観的感想や主張が入っており、事実とは異なる場合があります。本稿の目的以外にご使用にならないようお願いいたします。

今回のディベート大会は、自分たちの成長を改めて実感する機会となりました。それと同時に、自分のもっと努力が必要な点も感じることができました。ディベートでの経験を生かして、これからのゼミ活動によりいっそう励みたいです。

